

令和3年度第4回堺市文化芸術審議会 議事録

1 開催日時

令和4年3月18日（金）10時30分～11時30分

2 開催場所

堺市総合福祉会館5階 堺市職員能力開発センター 研修室

3 出席委員（50音順・敬称略）

柿本 茂昭 委員	（公募委員）
さいとう しのぶ 委員	（絵本作家）
菅野 陽子 委員	（公募委員）
田辺 竹雲斎 委員	（竹工芸家）
中川 幾郎 会長	（帝塚山大学名誉教授）
永島 茜 委員	（武庫川女子大学准教授）
坂東 亜矢子 委員	（演劇評論家）
弘本 由香里 委員	（大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所特任研究員）
藤野 一夫 会長代理	（芸術文化観光専門職大学副学長）

4 出席議事関係者（50音順）

上田 假奈代 様 （堺アーツカウンシル プログラム・ディレクター）

5 事務局職員

・文化部長、文化課長補佐、文化課企画係長 ほか

6 関係者

・公益財団法人堺市文化振興財団事務局長、事業課課長、事業課係長

7 議題

- （1） 令和3年度堺市文化芸術審議会の答申案について
- （2） 令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金の採点について

開会

<事務局より説明>

議題

(1) 令和3年度堺市文化芸術審議会の答申案について

◎中川会長

「議題(1) 令和3年度堺市文化芸術審議会の答申案について」審議いたします。
まず事務局からご説明をお願いします。

<事務局より説明>

◎中川会長

ここからは皆様方のご意見を頂いたうえで、最終案にしたいと思います。柿本委員からお願いします。

○柿本委員

大変よくできた案だと思います。異議ございません。

◎中川会長

ありがとうございます。さいとう委員をお願いします。

○さいとう委員

異議ございません。

◎中川会長

はい、菅野委員をお願いします。

○菅野委員

内容を見させていただき、具体的ですごく分かりやすくなっていると思います。おわりにの部分も課題が具体的に書かれており、異議はございません。

◎中川会長

はい。ありがとうございます。田辺委員どうぞ。

○田辺委員

分かりやすく記載して頂いているので、異議はございません。

◎中川会長

ありがとうございます。永島委員どうぞ。

○永島委員

大変具体的に書かれていると思います。書かれている内容自体はとても素晴らしく、文章としても、堺アーツカウンシルや堺市文化振興財団の記載があり、よいと思いますが、例えば、堺の文化ネットワークの図式を加えるともっと良いのではないのでしょうか。それぞれの機関の構図があればさらに分かりやすくなると思います。

◎中川会長

それをどこかのページに入れることはできますよね。図式を入れれば分かりやすくなると思います。地域文化会館等も含めて、組織と施設の関わりが分かるような組織図を入れてみてください。

●事務局

かしこまりました。

◎中川会長

それでは、坂東委員お願いします。

○坂東委員

私も皆様と同じで非常によくまとめられた案だと思います。委員からの評価についての記述も、きちんとマイナス評価の部分そのまま記載しているので、非常にありがたいなと思いました。

◎中川会長

ありがとうございます。弘本委員お願い致します。

○弘本委員

私も皆さんと一緒に、前回の議論をきちんと受け止めて、修正して下さったので、非常に分かりやすくなりました。この内容をどう共有していくかが重要だと思います。これまでも共有の努力はして頂いたと思いますが、ここで指摘されていることを前向きに受け止めていただけるような場作りというのを考えていただければと思います。

◎中川会長

ありがとうございます。藤野委員お願いします。

○藤野会長代理

前回いろいろ発言させていただいた点が、おおよそ取り入れられているので、特に議論はありませんが、17ページの終わりの(1)9行目、機能強化のマネジメントやガバナンスのところですか。これはさきほども他の委員からありましたように、中枢文化芸術関連施設と地域の文化芸術関連施設の関係性をどのように広域化していくかが課題かと思います。ここで連携強化に取り組まれたらという提案をしているわけですが、実際に今回出てきた課題について、関係文化施設の間での職員同士のノウハウの共有や研修を実際どのように行っていくのか、例えば館長会議や企画担当者会議を定期的に行うような具体的な案はあるのでしょうか。

●事務局

堺市文化振興財団ですが、館長会議及び担当者会議を月1回開催しています。現状、6施設の文化会館があり、そのうち堺市文化振興財団が5施設を管理していますので、連携は取れていると思います。上田PDに相談はしているが、連携とスキルアップのために堺アーツカウンシルのPD、POと財団の事業課が連携した勉強会を開催したいと思っています。それで連携や専門性を高めていきたいと思っています。

◎中川会長

ありがとうございます。では私も委員として発言したいと思います。

よく整理していただきありがとうございました。17ページの(1)文化芸術とともに生きるが藤野委員からご指摘あった箇所です。

職員同士のノウハウの共有、研修における相互の交流等、さらなる連携強化に取り組みたいというのは非常に重要なことです。お願いしたいのは、施設、指定管理者、財団を含め、定例的に新年度入った際に人事異動があるので、必ず研修をして頂きたい。その研修の中身としては条例の学習、基本計画の学習、堺アーツカウンシルが取り組んでいることの理解、この3点は必修科目にして頂きたいです。

市役所の職員は約3年で異動となります。人が入れ替わっても、この精神は残してもらうように、研修をしていただくのは必修にさせていただきたい。研修予算は、私はわかりませんが、必ず計上されていることを願います。これは理念論で言っているわけではなくて、制度論としてきちんと研修するっていうことを位置づけないといけません。ですので、このことは強く私の方から要望します。以上です。

他、追加発言のご希望等ございますか。なければ次に移ります。それでは、答申についてはこの内容で、よろしくをお願いします。

議題

(2) 令和4年度堺市文化芸術活動応援補助金の採点について

非公開情報を含むため非公開とする。